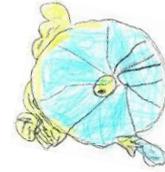


とうせい おか
伊賀市立桃青の丘幼稚園だより

あさがお

たよう しゅたいせい かんよう きょういく
～多様な主体性を涵養する教育～



子どもたちは異年齢で運動会ごっこを楽しんだり、遠足に出掛けたりして活発に生活や遊びを進めています。戸外のリレーごっこでは「がんばれ～!」の元気な応援の声が響いています。また遊びの場面では「一緒におにごっこしよう。」など、仲間を集めるための積極的な声掛けが見られます。それらの姿は共通して友だちに対しての思いやりの気持ちが表れています。様々な経験を経て、仲間意識が高まってきている姿だと捉えています。

そして、お家の方のエピソードもあります。朝の受け入れ時には、様々なつぶやきがあったり、「あい先生、聴いてください!」と目を輝かせて話をされたりする保護者様がたくさんいらっしゃいます。子どもたちの成長と同じように、皆さまのつぶやきや会話、表情などから、保護者様同士のつながりや仲間意識も深まってきているのではないのでしょうか。常に進歩を重ねておられるみなさんが私は大好きです…。



園マニフェスト【学力】主体性をもち「遊び・生活・活動」を進めていく子ども

～連続した体験活動の中で、豊かな感性を培い知的好奇心や探求心を育てる～

園の畑などで、様々な野菜を栽培しています。やわらかい土をつくってもらい、さわったり、足で踏んだりして確かめます。中には「ふかふかだけど、踏んでもいいのかな?」と疑問をもったり、実際に畑に入って踏んでみると「ふかふかのお布団みたいだね。」と友だちと喜びを共有したりしています。実際に、体験してみると様々な発見があります。その気づきからしてみたいと思う意欲が次々に生まれています。

1学期から連続して先生や友だちと一緒に栽培活動を進めてきて、世話をしながら植物の観察をしました。少しずつ大きくなる野菜を見て、心が動く機会を得てきました。5歳児がツルをさして世話をしてきたサツマイモが立派に育ち、年長組さんの姿を見ながら、全園児がサツマイモ掘りを経験しました。大きなサツマイモを収穫できた時の喜びは、次の活動につながる原動力になります。

大・中・小に分ける・重さを量る

このように園教育では、多様な体験活動の中から生きる力の基礎を培っています。10のかたまりに集める【5歳児】

1人1人の発達に応じ体験を通して
理解を深め、興味関心を深めています。



率先して活動する【5歳児】

年長組の姿を見て自分たちも
してみる【3・4歳児】



ツルを使って制作をする【5歳児】

園・家庭・地域との連携を図り

園生活をより豊かなものにする。

～収穫した約 230 個のサツマイモ～

子ども会議によって、近隣の施設にお裾分け

地域と思いが
つながる



子どもたちが心を込めて
包んだサツマイモ・手紙



～だんじりの出庫見学～

自然に応援の掛け声

「が～んばれ！」

小雨のため5歳児が代表で
見学へ



～園に戻ってきた5歳児～

「だんじりのタイヤは木で
出来てたよ！」

3歳児・4歳児に自分たちが
感じたことを言葉・身振りで
伝える

収穫した野菜は、子どもたちが話し合いをして大切に使います。あいママレストランでは、数々のレシピが生まれそうです♡

～ゲストティーチャー リエ先生との出会いからお米博士への道のり 継続は力なり～



1年を通して、稲作を教えてもらっています。田んぼの見学から始まり、今では稲刈りの方法を知りました。

1粒1粒できる大切なお米を残さずに食べられるようになってきました。不思議・疑問に思ったことは、リエ先生に質問しました。

活動後も、疑問が湧いてきて、手紙を書くことにしました。子どもたちの「知りたい」気持ちが溢れています。

～保護者有志クラブ「ふえり〜す」のみなさんとふれあい体験～

年に3回程度、子どもたちとふれあう企画を出してくださっています。

2回目の計画は、「にんにんタイム」の中で一緒に体を動かそう!がテーマ
でした。体操や玉入れ競争でふれあいのひと時を過ごしました。

お家の人と一緒に大いに盛り上がり活動しました。

ねらい:様々な人に親しみをもち、人とかかわることの
楽しさや人の役に立つ喜びを味わう



「がんばれ〜！」



公立幼稚園は、地域とのつながりが深く、子どもたちにとって園生活がより豊かなものになります。

あさがおイラスト:すずねさん



文責 まつなが あい

